

“グラウバー理論入門とその応用 第2回 ”

(Introduction to the Glauber theory and its application)

鈴木 宜之氏 (新潟大学理学部)

Prof. Yasuyuki Suzuki (Niigata University)

講義内容

グラウバー理論は核子当り100MeVを超える入射エネルギーで有効な反応理論である。不安定核に関する情報はこのエネルギー領域の反応を通じて多く得られており、その実験データの理解にグラウバー理論は有力な道具となってきたし、今後もその役割はいささかも減少することはないであろう。講義の目標はまず第一にグラウバー理論の基礎的考えを紹介し、第二にその具体的応用のために必要な事柄と表式などを整理することである。また、不安定核を用いた諸反応の断面積などの分析への適用例を紹介したい。量子力学でおなじみのポテンシャル散乱の基礎から始めて、グラウバー理論の展開ではどのような難しさとそれに対処する近似が採用されているかまで述べてみたい。

今回の講義では、前回の復習を行った後、具体的な計算を行う際に必要な道具立て、幾つかの近似の物理的意味、ハロー核への適用について解説したい。

2011年5月12日(木) 1コマ目: 13:30~15:00

休憩

2コマ目: 15:30~17:00

会場: 仁科ホール、理研

This Lecture will be given in Japanese.

Contact:

RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer

seminar@ribf.riken.jp

<http://ribf.riken.jp/~seminar>